

川崎スポーツ



GIII

8月9日(金) 10日(土) 11日(日) 12日(月)

アーバンナイトカーニバル

戦力互角で激戦は必至

8月9日からの川崎競輪はG3ナイターのアーバンナイトカーニバル。ガールズケイリンの3レースを含めた12レース制で開催される。

シリーズの中心として期待されるのは東龍之介(神奈川96期)。山中秀将(千葉95期)からの機動型をアシストしつつ、悲願の地元G3優勝を目指す。他にも地元からは白戸淳太郎(神奈川74期)、成田健児(神奈川75期)、大塚玲(神奈川89期)も参戦。他には東日本から経験豊富なタイトルホルダー佐藤友和(岩手88期)や持久戦を得意とする本格先行の山岸佳太(茨城107期)らが名を連ねる。西日本からの遠征勢は五輪メダリストの永井清史(岐阜88期)や豪快なカマンやまくりを得意とする吉本卓仁(福岡89期)、近況一息だが工藤文彦(岡山97期)の豪快な撃は魅力。ヤングGP経験者の竹内翼(広島109期)と有力な機動型が揃い迫力ある走りが展開される。

ガールズケイリンは豪快な自力を繰り出す柳原真緒(福井114期)、柔軟な走りでも上位で好勝負を演じている鈴木美教(静岡112期)や内村舞織(福岡112期)、鋭いまくりで当所でも実績ある荒牧聖未(栃木102期)らが主力。地元注目の新鋭高木佑真(神奈川116期)は上位相手にどこまで戦えるか。

S級主力選手

東龍之介 神奈川・96期



この開催で地元を中心となるのは東龍之介。昨年の同アーバンナイトカーニバルも期待されながら2次予選で無念の落車棄権しているだけに、今年に懸ける想いは一倍だろう。

「地元という事を意識し過ぎないようになっているつもりだが、どうしても力んでしまうのかな。オールスター前のチャンスのある開催だと思うし頑張ります」と意気込みを語る。今期のスタート1回は青森F1で落車欠場となり状態に不安もあったが「青森でフレームが壊れてしまい名古屋は新車を使い後は細かい部分を調整したい」と名古屋F1で決勝3着、弥彦記念でも2連対とますますの成績にまごめる。落車の影響は無さそうだし、新フレームがマッチして怪我の功名となる事も。地元の利を生かせるこの開催で好結果を残したいところだ。

山岸 佳太 茨城・107期



強力な地脚を持つ山岸佳太はG1での大きな活躍こそ少ないが、過去に小田原記念と今年6月に開催された四日市ナイターを優勝してG3は2度の優勝がある。ペースを乱されてしまうが大敗してしまうケースも多いが、自分のペースに持ち込んだ時の先行力は相当。6月の四日市優勝の際は若手機動型の激しいバトルに立ち遅れることなく持久戦に対応した後に、最後は直線で突き抜けており、戦い方に柔軟性も出てきた。「位置は取れる様になつてきたけど、その分積極的なレースが少なくなつた面も。サマーナイトが終わってからはしっかり練習出来た。先行基本のレースを」と語っていた弥彦記念は4日間バックを取る走りで行先選手としての健在ぶりをアピール。この川崎G3でも持ち味を発揮できれば優勝戦線に食い込む事は十分だ。

佐藤 友和 岩手・88期



タイトルホルダーとして常にトップクラスで戦っていた佐藤友和だが、近年は苦しい戦いが続いていた。しかし、緩やかにだが復調の兆しが見えてきた。「特に何がきっかけで良くなったというのはなくて、自然と良くなった感じですね」と語るが、確実に良くなっている手応えは感じている様子だ。もちろんこのG3も意識はしており、川崎バンクのイメージについては「川崎は走る機会が今まで少なめで、相当久しぶりになると思います。でも悪いイメージはありませんよ。自分に合っていないところもありませんね。苦しい時期を経て既にベテランの域に入りつつある年齢にはなりましたが、佐藤を支持するファンはまだ多い。突出した実力者が無いこの開催では、激戦を戦い抜いた経験が生きそう。ここで復活Vを達成して勢いを付けたいところだ。」



工藤 文彦 岡山・97期



近況はやや不安定な成績の工藤文彦だが、この一番の豪快な撃には魅力十分。やや遅咲きの工藤だが「昨年にS級初優勝を決めて以来、コンスタントに勝ち星を重ねてきた。今年は松戸デビューでG1初出場を決めるなど、30代の半ばを過ぎて充実期を迎えてきた。「調子が悪いからこの成績なのか、新ルールに慣れない事があるのか自分でも分からない。いつもこの時期は、大抵上向いて来るんですけどね」と現状のデキに納得していない様子だが、抜群のタツシユ力を生かした自力はトップクラスを脅かすだけの威力がある。この開催までに軌道修正に成功すればV争いに加わること十分だ。川崎のバンクについては「聞いて、川崎は何度か走っていますが、スピードが速いのでこのシリーズで久しぶりに持ち味の豪快な撃が見られるか?」

高木 佑真 神奈川・116期



高木佑真はこの7月にデビュー。この川崎をホームバンクにする新たなガールズレーサーだ。「先行で結果を出せるような選手になりたい。目標とするのは奥井由(東京106期)選手です」と言う高木は身体能力も高く、まだまだ伸びしろがある。「いまは佐藤水菜(神奈川114期)さんと一緒に良い練習ができています」と言う。今年8月の時点で賞金ランキング4位に上る先行選手の佐藤が身近に居ることは高木にとりて大きなプラス材料。これまでの2戦は優秀な結果を出して1着2着3着がそれぞれ1回ずつ。逃げてバック線を通すレースをした時は全て確定板に載っている結果から、逃げて持ち味を発揮できる3週間近い準備期間があり、万全の状態で開催されるはず。師匠の白戸淳太郎と共に師弟揃って優出を果たしたいところだ。

URBAN BANK かわさきケイリン

○	▲	×	◎	注	予	決
朝倉佳弘	山 中 秀 得	吉 本 卓 仁	山 岸 佳 太	東 龍 之 介	氏 (直近成績) 名	勝 定 想 定
東京	千葉	福岡	茨城	神奈川	府県	期 別
90	95	89	107	96	96	期 別
S1	S1	S1	S1	S1	S1	級 別
3回	2回	1回	6回	2回	1着	1着
3回	1回	2回	4回	2回	2着	2着
5回	4回	4回	4回	7回	3着	3着
19回	12回	11回	20回	9回	着外	着外
0回	0回	0回	0回	1回	棄権	棄権
0回	0回	0回	0回	0回	失格	失格
30回	24回	31回	24回	24回	出走数	出走数
100.0%	8.30%	5.20%	19.30%	8.30%	勝率	勝率
20.00%	12.50%	21.00%	32.20%	29.10%	連対率	連対率
36.60%	21.40%	42.10%	35.40%	58.30%	3連対率	3連対率
0回	2回	3回	15回	0回	H数	H数
0回	4回	3回	12回	0回	B数	B数
106.66	104.48	106.04	108.75	107.16	102.00	106.00
						競走得点